



鳴門教育大学大学院学校教育研究科
人間教育専攻 幼年発達支援コース講師
博士(学術)

木村 直子

きむら なおこ



椅子に置いて
使う補助シート。
産後から
重宝している。

My Favorite

子どもがより良く育つ
社会を目指して

大学3年生のときに家族社会学の先生に師事したことが現在の研究につながっています。研究では、すべての子どものウェルビーイング(Child well-being)を実現するため、子どもが良い状態で成長するのに必要な環境要因を明らかにしています。ウェルビーイングとは「心安らぐ安定した生活環境を持ち、希望や夢への期待をもつて生活できる状態と定義されます。そのために家族ができること、保育・教育機関ができること、児童養護施設など社会的養護の場でできることを考えます。具体的には、保育所や幼稚園に研修に出かけ一人ひとりの子どもの成長過程を省察し、生活や学びの豊かさを評価する指標作りや、親のライフスタイルが子どもに及ぼす影響を調査しています。

子どもがより良く育つ社会を目指して
大学3年生のときに家族社会学の先生に師事したことが現在の研究につながっています。研究では、すべての子どものウェルビーイング(Child well-being)を実現するため、子どもが良い状態で成長するのに必要な環境要因を明らかにしています。ウェルビーイングとは「心安らぐ安定した生活環境を持ち、希望や夢への期待をもつて生活できる状態と定義されます。そのために家族ができること、保育・教育機関ができること、児童養護施設など社会的養護の場でできることを考えます。具体的には、保育所や幼稚園に研修に出かけ一人ひとりの子どもの成長過程を省察し、生活や学びの豊かさを評価する指標作りや、親のライフスタイルが子どもに及ぼす影響を調査しています。

研究とともに教育に携わる喜び

大学に勤める職業研究者として研究以外にも教育という仕事の本務になり、大きな責任を感じました。今では授業や論文指導などを通して学生と多くの時間を過ごし、卒業後それぞれの夢に向かつて進んでいく姿に感動を覚え、やりがいを感じています。教員になった卒業生と教育現場の情報交換ができるのも、教育大学の研究者ならではの醍醐味です。今後も日本に暮らす全ての子どもが安心安全な環境でいきいきと生活できるような知見を、教育や保育、子育て支援の分野で発信していきたいです。

アメリカで学び、 国際感覚を身に付ける

アメリカで学ぶ、国際感覚を身に付ける
商社に勤める父親の仕事の関係で、幼い頃から日本と外国を行き来して育ちました。札幌にいた高校1年生のとき天文学を志す私に、担任の先生から「天文学ならアメリカで学ぶほうがいい」とアドバイスを受け、渡米。シアトルの高校を卒業し、ワシントン大学へ進み天文学、物理学、人類学を専攻しました。大学の寮生活をしてきたときはアメリカをはじめ様々な国の学生と仲が良くなり、台湾人学生会にも参加するなど国際的な交流を行っていました。このような経験を通して次第に英語が堪能になり、アリゾナ州立大学での大学院時代はアメリカ人の友人と4年ほどハウスシェアをしたのも楽しい思い出です。

帰国後は鳴門で 教育に関する研究に専念

帰国後は鳴門で教育に関する研究に専念
アリゾナにいた頃、鳴門教育大学大学院現代教育課題総合コースの「みんなつなげて考える」というコンセプトに興味を持ち、自分がかれまでに経験したことを研究に活かせるのではないかと、思い、帰国を決意。本学の着任をきっかけに、天文学から環境教育の分野に飛び込みました。現在、国際協力の一環としてラオスの理科教育を中心に調査・研究し、

My Favorite



お土産としてもらったり買ったりした外国の雑貨など。

My Favorite
同国の教育の質向上に向けて取り組んでいます。今後は国際的な環境教育の力キョラム等の比較研究を行う予定で、海外からの学びを日本の環境教育に活かさないかと考えています。もともとさまざまな分野に興味があり教えることも好きだったので、理数教育に強く豊かな自然に囲まれた本学は、私にとって非常に良い環境だと感じています。

世界各国の先生と 学びあえる環境

世界各国の先生と学びあえる環境
本学ではアフリカや東南アジアオセアニアなど、JICAと連携し各国の理数科教育の発展のための研修事業を行っています。昨年からは教員教育国際協力センターと連携し始めたので、今後得意の英語を活かし世界中の先生方と国際的な研究を進めていきたいです。そのなかで、海外の大学では日本よりはるかに多くの女性研究者が活動していることを実感し、日本でもさらなる支援体制の充実が必要だと思えます。



平成26年度課題別研修「仏語圏アフリカ理数科分野における教授法改善指導者養成」開講式
Leadership Training on Improvement of Pedagogy for Science and Mathematics Education for Francophone Countries in Africa

田村 和之

たむら かずゆき

鳴門教育大学大学院
学校教育研究科 人間教育専攻
現代教育課題総合コース担当 講師、博士(物理学)

略歴
神奈川県生まれ。中学生の頃から天文学に憧れ、高校2年生から渡米。ワシントン大学にて天文学、物理学、人類学を三重専攻。アリゾナ州立大学大学院博士課程へ進学、博士(物理学)を取得。2011年4月より現職。